会 議 等 開 催 結 果 報 告 書

１．会議名	令和５年度（２０２３）第１回出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会
２．開催日時	令和５年（２０２３）５月３０日　火曜日　１４：００～１５：３０
３．開催場所	出雲市役所　６階委員会室
４．出席者	＜委員＞ 浅野紳委員、芦矢京子委員、飯塚由美委員、石飛丈和委員、打田祥一委員、金築真志委員、川谷吉正委員、齋藤茂子委員、高橋陽委員、中間敦司委員、原洋子委員、福間昇委員、藤江多恵子委員、矢田栄子委員　吉田太郎委員 （５０音順） ＜事務局＞ 出雲市：福祉推進課長、福祉推進課主査　ほか 出雲市社会福祉協議会：事務局長　ほか

５．議題（会議等において検討された事項等）

開会

１　委員長あいさつ

２　報告事項

出雲市福祉総合相談支援事業の取組について

３　協議事項

（１）第４次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理について

（２）出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画地域ヒアリングについて

３　その他

閉会

６．担当部署	出雲市健康福祉部福祉推進課 出雲市社会福祉協議会総務課企画係	連絡先	０８５３－２１－６６９４ ０８５３－２３－３７８１
７．会議要旨	以下のとおり		

１．開会	本委員会を公開で開催、傍聴人　無し
２．委員委嘱及び委員・事務局紹介	省略
３．委員長あいさつ	昨年度、事務局の皆様の頑張りと委員の皆様の貴重なご意見により、第４次計画の策定となりました。５年計画ですので、これからどのように検証していくのかが議題になってきます。コロナも落ち着いて、以前のように地域活動が活発になっていくことを期待しつつ、新しい風が吹いて新たな活動が増えていくことを重ねて期待しています。 新委員さんをはじめ、皆様の忌憚ないところでたくさんのご意見お願いします。
４．議事	
委員長	それでは、次第に従って議事に入ります。「出雲市総合相談支援事業」について（資料１）事務局から説明をお願いします。
事務局	<u>出雲市福祉総合相談支援事業について（資料１）について報告</u>
委員長	ご質問、ご意見いかがでしょうか。 ＜意見なし＞
委員長	それでは協議事項に入ります。（資料２）事務局から説明をお願いします。
事務局	<u>第４次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理について（資料２）</u>
委員長	何かご質問ありますでしょうか。第３次計画ではアンケートを毎年度実施しておりました。そのなかで地域福祉活動をやっている人とやっていない人とに二分されているように思いました。
Ａ委員	前年度に引き続き、今年度はこのような手法でやっていくということですが、これまでのアンケートについてはどのような内容となっているでしょうか。
事務局	例えば、「日々の生活は楽しいですか。」「毎日の生活に満足していますか。」「生きがいはありますか。」「社会的な役割を果たしていますか。」「社会生活に満足していますか。」などの項目でアンケートを行っています。また、来年度

	にアンケートを行う予定としていますが、実施前に、この委員会で項目の内容を審議いただいてから実施していきたいと考えています。
委員長	ありがとうございました。
Ｂ委員	資料は事前に見てきましたが、何をどうされているのかが初めて分かりましたので、随時質問させていただきたいと思います。
委員長	他にはございませんか。
Ｃ委員	資料１「出雲市福祉総合相談支援事業の取組について」の中の「５　終結ケース１６件」とありますが、差し支えなければ、「４　世帯が抱える課題のカテゴリ」のどの項目のところなのか教えていただくことは可能ですか。
事務局	終結ケースについてはいろいろありますが、特徴的なものをいくつかピックアップしてお話します。「瓦の屋根が落ちそうな家があって困っているのだけど、そこに人が住んでいるのかどうか分からない」という相談が民生委員さんに入りました。民生委員さんはその家の住民の顔は分かっておられるとのことで、その方と連絡がついたら一緒に会いに行きましょうと話をしました。その後に民生委員さんがその方が市内でばったり出くわして連絡先を教えていただき、民生委員さんと一緒に会いに行きました。すると、その方はすでに何カ所かの支援機関とつながっていることが分かりました。また、民生委員さんも現在もその家に住んでおられるということはご存じなかったので、そこでその方と民生委員さんがつながることができ、且つ、民生委員さんと関係機関がつながることもできました。見守り体制ができたということで終結に至ったという事例でした。なぜそうなったかというとその方と支援機関の関係性が悪くなり、疎遠になってしまっていたということがあり、民生委員さんが間に入ったことで、また関係が少し戻ったということで支援機関から感謝されたケースがありました。 他には、おひとりでお住まいの高齢者の方がいらっしゃったのですが、そこの家財がそのままになっており、どうしたらいいかという相談があり、何回か地域住民、支援機関、行政が入って、相談を繰り返したのちに、関係機関のほうで地域の方と一緒に片付けのお手伝いをして家は片付き、それでご本人は別のところに入所することができたというケースがありました。総合相談が入って解決に至ったという特徴的なものをあげました。
Ｃ委員	簡単に左に掲げている項目「４　世帯が抱える課題のカテゴリ」で教えていただけたらと思いました。１６６件の合計件数が出ている中で、１６件が終結ということでしたので、少ないなと思いながらも大変だったんだろうとお察します。例えば障がい１件とか住まい５件とか、簡単な数字的なものがあればと

	いう意味で質問させていただきました。１６件がどこの項目にあるのかというところを知りたかったところです。
委員長	「１６件の内訳」ということですか。
Ｃ委員	内訳です。
事務局	このカテゴリの内訳ですが、この場ですぐに説明する資料を持ち合わせておりません。申し訳ございません。
Ｃ委員	分かりました。
委員長	他にありませんか。
Ｄ委員	今年度初の委員会ということで、先ほどの話では今までにアンケートを取ったりされていましたが、今年度の委員会の計画についてはどうなのか知りたいです。前回の委員会でも話は出ているかと思いますが、今年度はアンケートも実施もないので、今年度のこの委員会では何をするのかなと思い、質問しました。
委員長	それについては、後程でてきます。
Ｄ委員	わかりました。
委員長	それでは、（資料３）事務局から説明をお願いします。
事務局	出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画地域ヒアリングについての説明（資料３）
委員長	それでは、ご意見を伺いたいのですが、 まずはこういう地域のヒアリングの実施に関していかがでしょうか。
Ｅ委員	先程のような団体に関しては、これまでに出雲市や社協はすでに関係性があるということでしょうか。
事務局	そのとおりです。
Ｅ委員	そのうえでお聞きします。今回初の試みであるヒアリングですが、ある程度の具体的なヒアリングの内容についてお聞きしたいと思います。それからヒアリングするにあたってはシナリオのようなものを想定しておく必要があるのかと思っています。最初の報告のところで今年度からと書いてあり、具体的な相

	談案件等を発掘するということもあるかと思いますが、訪問先のほうからこういうことで困っている、こういうことを直してもらいたいという話がでてきた時に、その解決はどういうタイミングで行うのでしょうか。資料３「１　目的」の３行目に「結果については次期計画への反映に向けて」とあるが、次期計画までひっぱっていくのか、ある程度即座に要望に応えていくのか、というところが少し見えなかったので、お聞きできればと思います。
事務局	ヒアリングの内容についてですが、まずは困っていることを聞いていきたいと考えています。あわせて今回選定している団体は長期的に活動しておられる団体を中心に選定しています。長期間活動しておられる秘訣なども聞いていきたいと考えて。計画については次期計画に反映と書いていますが、内容次第で、早期に対応すべきかを市と社協で対応を検討していきたいと考えています。
委員長	ヒアリングする前に各団体の基本情報は事務局で整理していただき、そのうえでヒアリングを実施しようと思います。まず大事なことは、委員が現場の活動を実感し、実感したうえで内容や課題を聞くことで、次に活かせることがあれば、まとめて出して、対応していくことになるかと思います。 ちなみにシナリオというのはどういったことでしょうか。
Ｅ委員	大体こういうふうになるんじゃないかということを考えながらでないと想定外のことを言われたときに困りますよねという話です。
委員長	いろいろ団体を挙げてもらっていますが、委員さんのなかでこういう団体はどうか等ご意見がありますか。 今年度のみならず、来年度も引き続きということになるかとは思います。 こういう団体はどうかというところがありますか。
Ｆ委員	副委員長さんが活動しておられるなかで、障がいのある子の親さんの会などがあるのではないかと思います。学校に行きにくい子供さんを支援しておられるグループ等もありますが、そういったところはどうかと思います。
Ｇ委員	私たちは当事者団体で、障がいのある子を抱えた親の活動をしていますが、このようなボランティア活動の団体、活動しておられる方ががたくさんおられるのだなということが今日わかってうれしいなと思いました。お困りごとをヒアリングすると、たぶんこんなことに困っておられるのだろうなというのは何となく想像できるのではないかと思います。おそらく経費的なこと、人材不足、高齢化、参加する人がいない等、そういうことがあがってくるのではないかと思います。経費的なことを一番に言われた場合、どう対応されるのかなと思います。人材的なことも積極的に福祉活動される方も減ってきていると感じているなかで、それを解決するためにヒアリングを行い、市と社協さんと一緒になってどうしたらいいのか考える材料として協議してもらえたらと思っていま

	す。おそらくお金とか人材っていうのが一番の困りごとではないかと思いますが、そういう場合はどうお答えされるのかと思います。
事務局	経費的なものについてですが、例えば子ども食堂は最初の立ち上げに係る補助金はありまして、既に利用しておられると思います。他に既存の補助制度があればつなげていき、もしご存じないようであれば紹介していきます。それ以上の大規模な金額がかかることとなれば予算も伴ってきます。制度設計から行わなければなりませんのですぐに返答は難しいかと思います。今後の計画で考えていかなければと思います。 人材不足に関しては、地域にいらっしゃる方の掘り起こしを行い、新しい人材を取り込んでいかないといけないのではないかと思っています。これはこの件だけでなく、地域全体、または全国的にも課題となっていることと思っています。研修会を開催しても、関わっている人でないとなかなか参加されないということがあり、まずは楽しく集うような集まりから始め、そのなかで地域課題でこんなことがあるのではないかというところを紹介しながら、参加された方のなかに数人でも人材として取り込んでいければと思っています。そういうところからスタートしていき、また、研修会を開催して皆さんのレベルアップを図っていくことも必要かと思っています。まだ、現実的にはそういう仕組みはできていませんが、ヒアリング等を通して状況やさまざまな意見を伺いながら、仕組みつくりも行っていけたらと思います。
事務局	社会福祉協議会では、現在福祉活動団体への助成事業を行っており、それらをさらに使いやすくしていけたらと考えています。金額的な面も今後の検討材料になるといいのではないかと考えており、皆様からの意見がその材料になるといいと思います。人材に関してはボランティア講座も開催しており、たくさんの講座が開催しにくい状況ではありますが、どういう分野のどういう方たちに広げていったらいいかというところの意見をいただき、講座を組み立てていけたらと思います。コロナ禍で人が集まっての講座、研修事業が止まっていましたが、今年度からは再開予定です。例えばコミュニケーションの講座を今年度考えています。これはさまざまな活動の基盤になるような対人関係をうまく構築する、いろんな話を聞いたり話したりするということができるような、そういった基礎的な知識や技術を身に付けていただこうという講座です。そういったさまざまなボランティアの講座のアイデアを頂戴できればと考えております
G委員	社協さんはたくさんの補助事業しておられるのを知っているのですが、一度使おうと思ったときに縛りがきつくて利用できなかったという経緯があります。例えば、ボランティアさんにお茶やお弁当を出したいが、経理が出すことが難しい場合に、社協の補助金を使ってできないかと思ったが、飲食は補助金の対象外ですと言われ、残念に思ったことがあり、縛りを少しゆるめていただけたらと思います。他の市では、社協でお弁当代が出たよというところも聞い

	たことがあったので、そのあたりをもう少し考えていただけたら、利用できる幅が増えるのではないかと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。なかなか制約があり、難しいところもあると思いますが、なるべく活動がうまく進むような方向が何かできればと検討していきます。
委員長	どうやれば広がりがあるのか、深まるのか、ヒントもいただけたらと思います。なるべく他の団体にも刺激を与えていけたらと思います。 他に取り上げてほしい団体とかはありますか。
H委員	取り上げて欲しい団体というより、まずは今年度はここに挙げてある団体を重点的にヒアリングするほうがいいと思います。先程の候補理由の説明にもあったが、どうやったら長期的に続くのかが聞けたらと思います。一番は立ち上げたときはみんな熱意があるが、年数がたつと熱も冷めてきて、人の確保が難しくなっていくということがあるのではないかと思います。長らくできた秘訣のようなことを伺うことは計画の参考になるのでないかと思います。
委員長	ヒアリングの計画を立てるときに事務局も内容を考えて案を立てて選考していると思います。先程の候補にあがった団体で行ってみたいと思われるところがあったでしょうか。
I委員	普段、こういう団体を見に行く機会がないので、機会を設けていただきありがたいと思っています。こういう活動をやっておられるところがたくさんあるということは知ってはいましたが、個々の団体名を挙げてこの地域でやっておられるという細かいところは知らなかったので、今回よく分かりました。他に訪問してみたい団体についてということですが、障がい者の方の就労支援を行なっておられるところや障がい児の児童クラブ等はどうかと思います。学校は行っておられるけど、放課後にそういう子たちはどういうふうに過ごしておられるのかと思います。以前に関わった団体があり、そういった施設や団体に通っておられる方はいいけど、他の地域ではどういうふうに過ごしているのかと思います。そういう活動支援をしておられるところがあれば、聞いてみたいと思いました。 私たちの団体の活動では、お金を払ってスポーツをしたいという活動的な方々がたくさんおられて、そういう方々がこういうたすけあい・ボランティア活動のお手伝いができないか、そういう機会があったらいいなと思っています。スポーツボランティアだけでなく、そういうことに時間を使っておられる方がおられるので、つなげることが我々にできないかなと思いながら聞いていました。そう考えたときにボランティアセンターさんという組織が出雲市にありますよね。ここには個々の団体が登録されて、それぞれの活動をされていることと思います。それらの団体と一緒に活動したり、それぞれの活動の支援やお手

	伝いが少しでもできればいいなと思いました。そういうことを考え、その視点をもちながら、訪問させていただけたらと思いました。
委員長	今の意見を聞いて思いましたが、「いろいろな地域活動をしたいけど、きっかけがない」という方が多くおられたので、そういった機会をつくるのは大切と感じます。 ほかにはいかがでしょうか。 いつ頃実施となるのでしょうか
事務局	早速、団体に打診をして、６月中にはご案内をさせていただきたいと思います。市と協議を行い、本日の委員会でいただいた意見も踏まえてまとめたうえでご案内しようと思います。強制ではありませんので、ご希望のところで、行ってみたいところがあれば参加していただけたらと思います。
委員長	では議題の「その他」についてですが、何かこの機会に情報共有したいことがあればお願いいたします ＜意見なし＞ 本日の議題は以上となります。 以上で本日の委員会をこれで終了いたします。ありがとうございました。
５．閉会	